



風っ子・環境キャンペーン

館林市

全校児童でゴミ拾い ふれ合いウォーキング

館林市立第八小学校



遊歩道や芝生広場が整備された多々良沼公園のゴミ拾いをする児童。燃えるごみは○印をつけた袋、燃えないごみは×印をつけた袋に入れます

館林市立第八小学校（西高根町）は、冬になると白鳥がやってくる多々良沼に一番近い小学校です。

同校は今年度初めて、元気に歩いて友だちや保護者とふれ合いながら、多々良沼周辺のごみ拾いをして地域をきれいにしようという「多々良ふれあいウォーキング」を企画。全校児童が2日に分かれて参加しました。11月22日には、1、2、5、6年生が多々良沼の北側と県立美術館の芝生広場を、29日には3、4年生が多々良沼公園自然ふれあいエリアの多目的広場を担当しました。

開会式では関野利男校長が「ごみは、あるかもしれないし、ないかもしれない。その理由も考えながら活動しよう」と呼びかけました。

22日に行った場所は、パッと見はとでもきれいなところ。近づくとたばこの吸い殻やお菓子の包み紙などがたくさん落ちていました。29日に行ったところは、ほとんどごみがありませんでした。「小さいごみだと、目立たないと思ってしまうところはないか」「草が茂っているところはごみも多いね」「誰かが拾ってくれているのかな」「ごみを捨てる人がいないのかも」。紅葉の中、校長から出された宿題を考えながら進みました。

いにしよという「多々良ふれあいウォーキング」を企画。全校児童が2日に分かれて参加しました。11月22日には、1、2、5、6年生が多々良沼の北側と県立美術館の芝生広場を、29日には3、4年生が多々良沼公園自然ふれあいエリアの多目的広場を担当しました。



1年生と6年生のペアで仲良くゴミ拾いをします

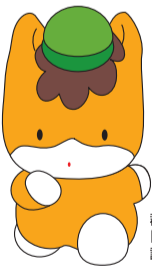
上正路星流さん（6年）は「散歩をしながらゴミ拾いをしている人を見かけました。このような機会を増やして、自分たちもごみを出さないようにすればきれいになる」と、佐竹美羽さん（同）は「ごみ拾いをしたら、気持ちはずっさり。やってよかった。大人になってもボランティアで続けたい」と笑顔で話していました。

身近にできるエコ活動

買いものにマイバッグ

スーパーで毎日のおかずを買う家庭も多いでしょう。みなさんも買ったものを持つことがあると思います。そんな時には、ぜひマイバッグを使ってみてください。重いものを入れるときは丈夫なバッグ、小さい子供が手伝うときは小さいバッグが良いですね。好きな色や柄のマイバッグを見つけて、何度も使うようにしましょう。レジ袋をもらわないようにすることも、身近なエコ活動ですね。

群馬県環境アドバイザー 小峯幸子



みんなでやると、ごみ拾いも楽しそうだなあ！

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」 許諾第29-110989号

館林市立第八小学校

関野利男校長 534人
館林市西高根町45番地の1
TEL: 0276-72-4026
創立 / 1874(明治7)年

<http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/school/sho.daihachi/>

豊かな体験活動や、体験に基づいた表現活動を積極的に推進している学校。上毛新聞の上毛ジュニア俳壇や「みんなのひろば」には、児童の作品がたくさん出ています。

風っ子・環境キャンペーン協賛社

(順不同)

